



平居 ゆかり 議員
無会派

問 自治会支援で地域の立て直しを

答 住民と行政との協働で

問 新規加入促進支援として、「だから私たちは自治会に加入していますチラシ」を提案するが、見解は。

答 **（市民生活部長）** 実体験に基づいたチラシであれば参考として活用する。

問 継続加入促進支援として、自治会への情報提供を含めた、広報の暮らしの情報ページにすることは可能か。

答 市ホームページなどで先進事例などを掲載し、情報を発信する。

問 新規及び継続加入促進支援として、自治会カードを発行し、地域の土台を守っていく意向はあるか。

答 まずは、地域で作成・発行し、入会返礼品を贈ったり、貯まったスタンプで商品交換をするなどの取組から行ってほしい。

問 すべては自主防災へつなげるため提案しているが市長総括を。

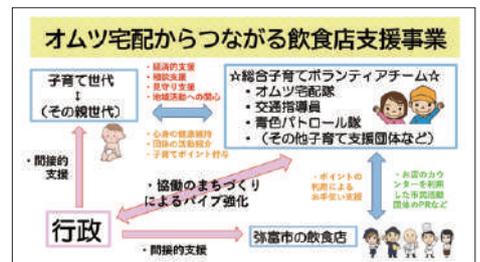
答 **（市長）** 自治会加入は、大規模災害時など、いざという時の助け合いにつながる。住民と行政が対等の立場でより良い地域づくりを行う。

問 子育て支援から街のにぎわいを

答 地域人材の活用は理想的な仕組み



▲自作提供資料



▲自作提供資料

○「新生児オムツ宅配からつながる飲食店支援事業」を提案するが、以下を問う。

問 ※アウトリーチに対する市の見解は。

答 **（健康福祉部長）** 面談などで一定の信頼関係を築いた職員が訪問を行う。

問 「こんにちは赤ちゃん訪問」は、母子の見守りとして十分か。

答 訪問や面接、電話などで継続的な支援を行っている。

※アウトリーチ
様々な形で必要な人に必要なサービスと情報を届けること。

問 子育て相談ニーズに対する考えは。

答 支援が届いていない家庭がないよう訪問や健診の機会を捉え、積極的に行っていく。

問 市民活動団体のPR方法は。

答 **（市民生活部長）** まちなか交流館2階と、依頼があれば公共施設などにチラシを配架。イベント等を市広報誌に掲載。新聞社へも情報提供。

問 交通指導員及び青色防犯パトロール隊が抱える問題に対する支援の考えは。

答 学校と連携し「交通安全集会」や「学校だより」などで紹介していく。

問 既存の飲食店への支援は。

答 **（建設部長）** 考えていない。

問 市長総括を。

答 **（市長）** 理想的だが、まずは知り合いなどからスタートし、口コミで広がるスピード感から始めていく方が安心感や信頼関係が構築できる。